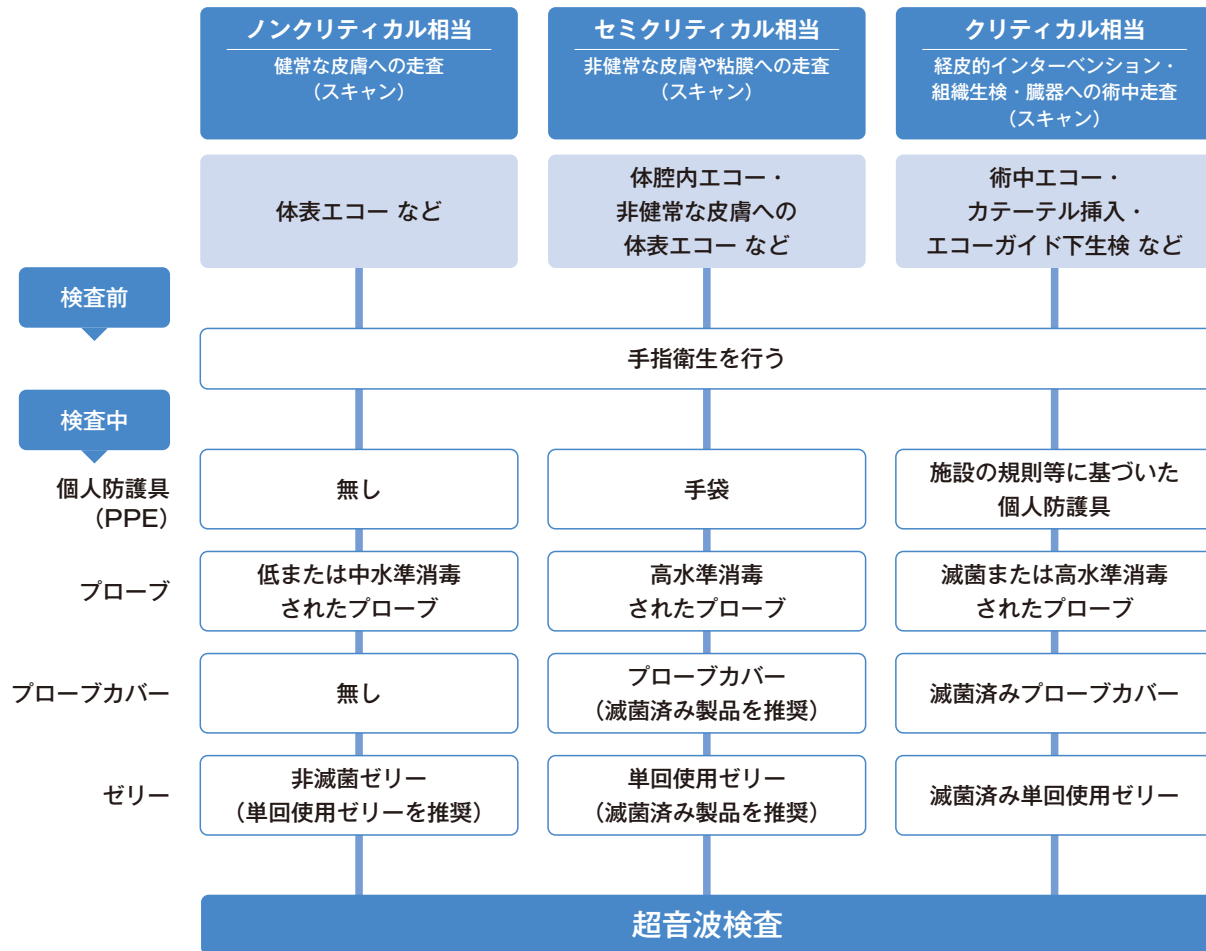


# 超音波検査における適切な感染対策

## 超音波検査を開始する前に確認する項目

### 「これから行う」超音波検査手技の感染リスクレベル\*



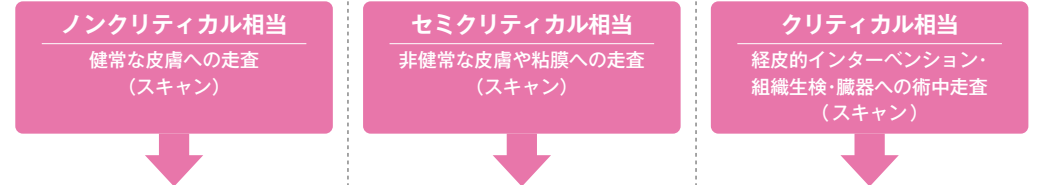
## 超音波検査の終了後に確認する項目

### 検査後

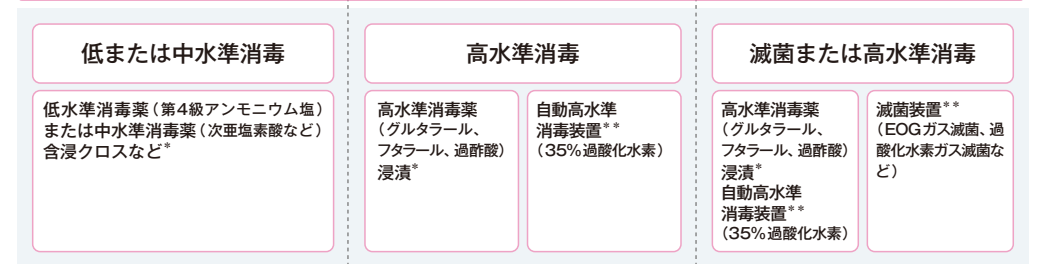
- 個人防護具を汚染度の高いものから順に外す
- 使用後のプローブからプローブカバーを外し、ゼリーや体液・血液などの目に見える汚れを取り除く
- プローブを適切な方法で洗浄・消毒・滅菌を行う(下図を参照)
- 超音波装置およびプローブのケーブル部分を、メーカー取扱説明書の記載に従い清掃する
- 手指衛生を行う

### プローブの 消毒・滅菌

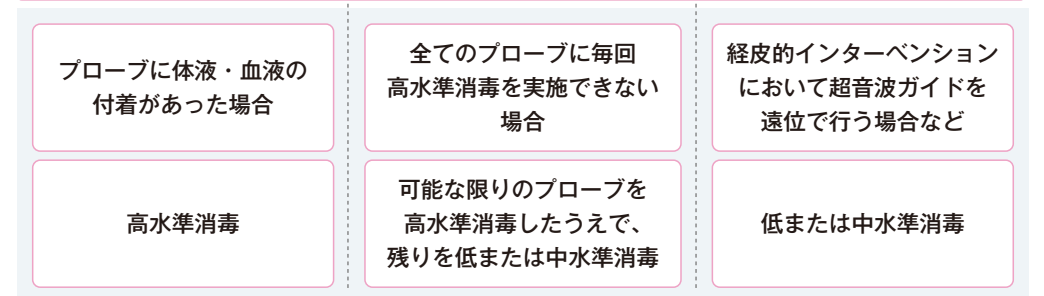
### 「次に行う」超音波検査手技の感染リスクレベル



### ガイドライン等の原則に準拠した推奨



### 特定の状況下での対応



\* 超音波検査手技の感染リスク分類表を参照し、感染リスクレベルを確認する。

\* 消毒薬は、十分な効果を得るために添付文書やメーカー取扱説明書に記載されている適切な濃度、温度、接触時間、対象物の洗浄度が必要です。また、消毒薬によっては、特定のプローブの消毒に適用できない場合がありますので、各プローブに使用する前に製造元の取扱説明書を参照してください。  
\*\* 自動高水準消毒装置または滅菌装置は、特定のプローブの消毒・滅菌に適用できない場合がありますので、各プローブに使用する前に製造元の取扱説明書を参照してください。